

平成26年3月3日

立川市議会

議長 守 重 夏 樹 殿

立川市議会 環境建設委員会

委員長 伊 藤 幸 秀

行政視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察月日

平成25年11月5日（火）から平成25年11月7日（木）

の2泊3日

2 視察地及び視察事項

視察都市名	視 察 事 項
山形県長井市	レインボープランについて
福島県二本松市	除染の取り組みについて
福島県会津若松市	金川町・田園町コミュニティバスについて

3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

環境建設委員会・視察報告書

報告者

環境建設委員会副委員長 梅田 春生

日 時 平成 25年11月 5日(火)～11月 7日(木)

視 察 地 ①山形県長井市レインボープランについて
①福島県二本松市除染の取り組みについて

視察参加者 環境建設委員会・委員全員、事務局 井ノ口

視察内容 ①レインボープランについて・全体説明(別紙添付資料の通り)

②福島県二本松市除染の取り組みについて(別紙添付資料)

所 感 ①レインボープランについてですが、レインボープラン推進協議会公認市民ガイドの渡辺嘉子さんから「循環型社会への地域からの挑戦」この事業はゴミ処理事業ではなく「食の安全と生のやすらぎ」に裏打ちされた市民運動で生ゴミの堆肥化事業だけでは無く堆肥から作物に変わり「NPO法人レインボープラン市民市場虹の駅」お店で市民の口に入る安全な認定野菜を販売し循環型社会を作る取り組みを見させて頂きました。地域の集会場で説明を受け次にレインボープランのメインのコンポストセンターに行きました。協力頂く各家庭から集積所に運ばれてきて生ゴミを投入し一次発酵するあたりまでの臭いは非常にきついのです。堆肥の状態では立川市で配っているベランダ堆肥と同じく土の臭いですが一次発酵槽までの臭気が気になるところです。コンポストセンターも河川に面したところで近隣の住宅地からも少し離れているところなので可能かと思いますが立川市のような市街化されたところには向かないと思います。

②福島県二本松市の除染の取り組みですが二本松市役所に伺うとはじめに市長応接室に通され二本松市 市長三保恵一氏から熱烈歓迎のご挨拶を頂きました。市長選挙数週間前の忙しい時期だと言うのに立川市の環境建設委員会のメンバーに除染作業は市民が早急に進めてほしい事業で三保市長も除染事業を最重要事項として取り組んでいると話されていました。その後二本松市、市民部 放射能測定除染課長 半沢宣幸さんから説明を受け山間部を多く持つ二本松市の取り組みの大変さをお聞きしました。その後数週間がたち市長選挙の結果がでて、三保市長の落選をみて除線の取り組みが最重要だと言った現職が落ちるとは思いませんでした。

立川市議会環境建設委員会視察報告書

報告者 委員長 伊藤 幸秀

1. 視察日時 平成 25 年 1 月 7 日
2. 視察地 会津若松市
3. 視察項目 金川町・田園町コミュニティバスについて
4. 視察概要(詳細は別紙資料)

■会津若松市地域づくり課より標記項目について説明を受け、質疑応答を行う

(説明の要旨)

●事業の背景概要

- ・公共交通空白地域解消に向け、市街地・郊外のエリアを選定
- ・金川町地区・田園町地区は大型バスの運行が困難
- ・高齢化により公共交通サービスの要請

●平成 22 年 8 月 検討スタート→ニーズ把握調査→協同により運行計画の協議

●平成 23 年 7 月～24 年 7 月 実証実験運行

- ・2～3 コースを、1 日 2～5 往復運行

●運行結果

- ・運行日数 110 日、利用者数 872 人、1 日平均 7.93 人

●結果のまとめ

- ・利用促進やダイヤ改正を行うが利用低調
- ・24 年に入り利用促進策を講じ、利用者は 1 日平均 4 人から 8 人にふえるがバス事業者の自主運行路線としての継続にいたらず。

5. 視察所感

- 特徴的なのは、行政主導ではなく地域自治会などをはじめとする、委員会方式の実証実験であったこと。
- かなり事前のニーズ把握調査に力を入れてアンケートを行っている。
- 結果としては、利用希望者が必ずしも利用者になっていない。
- 事後の分析を専門チームに依頼し、ユニークな資料を提供している。
- 立川市としても、コミバスの運行内容をさらに分析して、将来に活かしていくことの重要性を感じた。